

避難訓練

平成30年1月16日

阪神・淡路大震災から23年が経ちました。生まれる前に大きな地震があったことや日々の避難訓練の大切さを伝えるため、自治会長の中野さんに来園していただき、お話しを聞きました。

チャイムが鳴ると、「シー！」と、言いながら静かに放送を聞いていました。



幼児クラスは、非常階段を
通って、駐車場へ避難します。
「お・は・し・も」を
しっかり守り、安全に避難でき
ました。



自治会長の中野さんのお話



「この宝塚にも大きな地震がありました。電気や水が使えなくなって、棚が飛びだしたり…」と、当時の様子をわかりやすく話してくださいました。子どもたちも真剣な表情で、うなずきながら聞きこんでいました。実際に中野さんが準備している避難袋の中身を見せてくださいました。手袋やタオル、バケツ、ライト、水、食べ物…「あ、暗くて見えないから？」と、子どもたちもなぜ必要なのか考えていましたよ。



17日の給食は、震災の日にちなんで、おにぎりと豚汁が出ました。食べ物に困っていたことを知り、



今回の避難訓練では、自治会長の中野さんの貴重なお話を聞くことができました。子どもたちも命の大切さ、避難で気を付けないといけないことなど、それぞれが考える良い機会になりました。

これからも、地震などの災害の恐ろしさを忘れず、子どもたち自身にも自分の命を守れるように、伝えていきたいと思っています。